

## 再び「電子書籍端末キンドル」について

昨年10月10日付けの「ひとこと」で、アマゾン社の「電子書籍端末キンドル」を取り上げ、これを買うかどうか迷っていると書いた。その直ぐ後で、結局買うことに決めて、アメリカのAmazon本社に注文したところ、数日後には実物がクーリエ便で届いた。

買ったものの外観は非常にシンプルである。画面以外の色は落ち着いたアイヴォリーで感じが良く、全体のデザインには満足できた。大きさは、縦20.3 cm、横13.5 cm、厚さ0.8 cm程度、重量は簡単なカバー付きで約470 g。縦12.2 cm、横9.0 cmの画面があり、その下にキーボードが付いている。操作は上部と左右の端についている押しボタン様の機能を持つもので行う。USB型の差しこみにプラグのついたコードで充電を行い、プラグを外してUSB型差しこみでパソコンにつなぐこともできるようになっている。全体として、ごく簡単なものである。

使い方が分からなくて困るのではないかという心配があったが、実際に手にしてみると、大したマニュアルが付いてきたわけではないが、何とかあった。要するに、現在の携帯電話のような多機能を持っているわけではない。

MENUという画面を選んで、そこに出ているBrowseを選択すると、Fiction, Nonfiction, …, Science, History, その他の多くの分野で本を選択できるようになっている。全部で35万冊が電子化されて供

給可能とされている。ただ、残念ながら、私のわずかな経験では、私が読みたいと思う本は案外に利用可能になっていない。これは、単に私の興味とAmazonの選択とにずれがあるということなのかもしれないが、ひとつの原因はAmazonといえどもあらゆる出版社と電子化の契約を結ぶことがまだできていないからかもしれない。

書籍などのデータの取り込みは、携帯電話に使われている通信方式が採用されており、通信ができないときがたまにあるが、長い時間にわたって、繋がらなかったということはない。

たとえば、Fictionを選択すると、第1番目には、Kathryn Stockett 著 “The Help” があり、印刷体の値段は24.95ドルだが、Kindle Priceは11.50ドルだとわかる。この本は人種問題を扱ったものらしく、1,489件ものCustomer Reviewsがある。Buyというボタンをクリックすれば買えるのだが、内容を少し見てからにしようと思う場合には、Try a Sampleというボタンをクリックすると、かなりのページを読むことができる。この本は比較的新しい本のようなのだが、第5番目には、Sir Arthur Conan Doyle 著 “The Adventures of Sherlock Holmes” が出ており、シャーロック・ホームズが依然として高い人気を保っていることがわかる。

各ページで、どの単語にもカーソル様のものを持っていくことができる。そうすると、内蔵されている英々辞書に記載されて

---

いるその単語の意味がページの下の部分に出てくるので、いちいち辞書をめくる必要はない。これはかなり役に立つと思う。

Kindleを入手してから、私は忙しくなったため、まだKindleを使い込んではいないが、これでもっと本を読みたいと思っている。

ところで、電子書籍端末をめぐる状況は急速に変化しつつある。私がKindleを買った直後に、アメリカの大規模書店チェーンの Barnes & Noble が Nook という商品名の類似品をKindleよりも少し安い値段で発売した。そのため、Amazon はKindleの値下げをして、私も1千円ばかりの払戻しを受けた。ソニーは Reader という商品名のものを前からアメリカでは売っており、今のところ売上高はKindleの次のようだ。Amazon は私が買った機種よりも大きな画面の Kindle DX という機種も出しているが、数日前から日本からもそれを買うことができるようになった。また、昨日 Apple 社が iPad という小型ノートパソコンに近いものを3月下旬に発売することを発表して、話題になった。この画面はKindle DXに近い大きさのようで、値段は約45,000円らしい。私が買ったKindleの2倍近い値段だが、機能は多くなっている。重量は680gで、Kindleの280gよりもはるかに重く、カバーなど付けると1kgに近くなるだろう。

電子書籍端末は戦国時代に入ったといえる。確かに将来性はあると思うのだが、どれだけ多数の本を電子化できるかが今後の利用の伸びを決めるだろうと思う。それにしても、こうした動きに対する日本国内の出版社の対応の遅さは困ったものだ。ようやく20社ばかりが協議会を立ち上げて検討を始めることを最近新聞で読んだ。積極的な対応を望みたい。（おわり）